

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	平城宮跡地等整備費	事業開始年度	昭和40年度	作成責任者		
担当部局庁	文化庁	担当課室	記念物課	記念物課長 串田 俊巳		
会計区分	一般会計	上位政策	文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化財保護法 第1条	関係する計 画、通知等	・「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」(昭和45年12月18日 閣議決定) ・「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」(昭和53年) ・「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画」(平成20年)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	・平城宮跡の土地の買上げについては、明治39年に結成された平城宮社保存会の買収等の活動によって開始(大正13年、保存会所有地を国に寄付)された。その後、昭和37年、宮跡内での近鉄操車場建設計画が問題となった際、当時の池田勇人総理の英断によって、宮跡全体を国有地化する方針が決定され、翌年から国による買上事業が開始された。 藤原宮跡及び飛鳥地区については、「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」(昭和45年12月18日 閣議決定)によって国有地化の方針が決定された。 さらに、国有地化された平城宮跡の整備については、昭和53年に文化庁において定めた「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」に基づき、特別史跡に指定され、歴史的、学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡であること及び、広大な地域を占めて保全されている国民的文化遺産であることに鑑み、遺跡博物館としてのまとまりのもと、東院庭園、朱雀門等の復原、第二次大極殿院地区の整備等を行ってきた。また、藤原宮跡等についても、歴史的、学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として環境整備等を実施してきたところである。今後も既存施設の修理・修復、未整備地の整備等を行い、我が国の歴史、文化、伝統を確実に次世代に継承するものである。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	・特別史跡平城宮跡及び特別史跡藤原宮跡等の整備を行う。					
実施状況	・当該事業は、大規模な設計・改修を伴うものは文部科学省文教施設企画部において執行しており、小規模なものは文化庁において執行している。平成21年度においては、平城宮跡の遺構展示館などの改修工事や兵部省・式部省塗装替え工事などを実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	76	75	145	143	178
	執行額	67	81	197		
	執行率	88.2%	108.0%	135.9%		
	総事業費(執行ベース)	67	81	197		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	・予算の執行に関しては、文部科学省文教施設企画部において執行状況の確認を行うとともに、文化庁においても現地において状況確認を行うなど国費支出の適正性を確保している。				
	見直しの余地	・平城宮跡及び藤原宮跡等については、長期的な保存活用の在り方が求められるため、さらに効果的な方策を検討する必要がある。				
予算・監視の効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、国有地化された平城宮跡地等について、既存施設の修理・修復や未整備地の整備等を国が直接実施する事業であり、長期継続事業の観点から検証する。 2. 所見:国有地化した平城宮跡地を適正に維持管理する上で、必要な整備を長期的に実施するものであり、整備規模の適正化やコスト縮減に留意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。 なお、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。					
補記	※21年度の執行に当たっては、他の事業から一部経費を流用し執行。					

文化庁
197百万円

施設施工庁費 10百万円
施設施工旅費 0.7百万円

を含む。

〔特別史跡平城宮跡及び特別史跡藤原宮跡等の整備〕

【一般競争入札・請負】

A. 民間企業
全3機関
21百万円

文部科学省文教施設企画部
165百万円

〔特別史跡平城宮跡内などの施設修繕等〕

〔大規模な設計や工事を伴うものについて、文教施設企画部が実施〕

【一般競争入札・請負】

【一般競争入札・請負】

B. (株)三和建设
153百万円

C. 花佐造園(株)
12百万円

〔特別史跡平城宮跡遺構展示館など改修工事〕

〔特別史跡山田寺跡法面整備工事〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)ワールド設計			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	特別史跡平城宮跡遺構展示館改修整備設計等業務	15			
計		15	計		0
B.(株)三和建设			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	特別史跡平城宮跡遺構展示館改修工事	153			
計		153	計		0
C.花佐造園(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	特別史跡山田寺跡法面整備工事	12			
計		12	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックA 平城宮跡地等整備費

	支出先	支出額(百万円)
1	(株)ワールド設計	15
2	(株)尾田組	4
3	(株)ヘッズ	2
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
合計		21